

5 危機管理・防災体制について

小中学校等および地域指定の一時避難場所について、その設置状況は適切なのか。

6 街なか緑創出事業について

小中学校への「緑のカーテン事業」は、推進に向けたモデル事業の実施が必要。

7 中小企業・創業者支援について

ビジネス支援センターに設置されている創業支援室の実績と効果は検証しているか。

8 図書館・図書室の適正配置と開館時間について

現在の図書館・図書室の配置と開館時間では利用者が限られる。あり方を見直すべき。

9 地下水保全について

節水では自噴井戸と上下水道の漏水対策、涵養では市営造林事業の科学的検証が必要。

公 明 党

1 留保財源の活用事業の決算状況について

政令指定都市として初の決算であったが、新たな財源としての留保財源の活用事業の検証と効果、また今後の方向性についてどう考えているのか。

2 区バス運行関係経費について

「ゆうゆうバス」の路線ごとの利用者数、1便あたりの乗客数、収支率等の運行状況を示したうえで、今後の方向性をどう考えているのか。

3 待機児童支援助成事業について

待機児童数が増加しているが、待機児童支援助成事業の認知度が低いのではないか。保育コンシェルジュの設置等も検討して、制度の周知を高めるとともに、助成額の増額を検討して頂きたい。

共 産 党

1 駐輪場有料化後の影響について

有料化後、市街地での駐輪台数が半減している。利用者の声をよくきき、対策を。

2 職員の労働環境改善について

過労死ラインを超える職員が多数いることから、職員を増員し、残業時間削減を。

3 税の収納対策について

差し押さえ強化でなく、丁寧な納税相談、減免制度の活用により、税の収納率向上に取り組むべき。

自由クラブ

1 平成24年度水道事業・下水道事業について

システム業者が資料要求等に真摯に対応するよう求める。下水道接続を行わない業者への措置を規定すべき。

2 平成24年度熊本市決算について

児童相談所については複雑な事案に対応するため職員数を増やすべき。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。



～締めくくり総括質疑～

・本市の社会保障費

増加し続ける社会保障費については、消費税増税を以ってしてもなお楽観視できる状況にはない。本市としても、確実な財源確保を行った上で、健全な財政運営に努めてもらいたい。

・地域の元気交付金

地域の元気臨時交付金の使途について、教育・子ども分野への歳出は1億5千万円程度と、他の分野に比較し小規模であるため、さらなる増額を求めたい。

・地域企業雇用支援事業

熊本市産業成長戦略の4つの基本戦略に資するテーマに沿った民間からの企画提案によって100人を超える雇用創出が見込まれている。今後とも本市中小零細企業発展のために、国の経済対策に呼応し、本市の実情に即した事業の展開により経済活性化につなげてもらいたい。

・区ごとのまちづくり

各区での区民意識の醸成推進のため、次年度以降の予算拡充並びに各事業の行政管轄の区単位化、各区均衡ある公共施設の配置に留意してもらいたい。

・指定管理料、債務負担行為補正

現代美術館の指定管理者選定のあり方については、他都市においては、議論の末、相当の理由と根拠を以って、選定方法を公募から非公募へ変更した例もある。経済分科会での「非公募による管理者選定を行うべき」との指摘を重く受け止め、早急に検討し直し、市民や議会に対し、納得できる適切な管理運営のあり方を提示してもらいたい。

・子育て支援

待機児童解消対策として打ち出された「認可外保育施設運営支援事業等三事業」については、国の方針に基づいた認可保育所の整備拡大であり、潜在的保育需要が掘り起こされ、現在推計を超える待機児童に対応する必要が想定されるので、認可保育所の受け皿としての役割を担う、認可外保育施設への施設運営面等への補助を拡充してもらいたい。

・中心市街地の整備

花畑地区広場整備事業については、用地取得に極めて高額な費用を要する点や、広場整備の方針が、拙速に提案された感が否めず、市民の理解は得がたいと考えられる。現行の広場整備計画及び産業文化会館の取り壊し方針については、計画を白紙に戻し、中心市街地の活性化を旨とする再開発について、住民参加による徹底的な議論を求める。

・全国豊かな海づくり大会

本大会は、平成14年開催の国体以来、11年ぶりに天皇皇后両陛下のご臨席を賜る重要な国民的行事であることを踏まえ、昨年実施されたブレ大会の検証を行い、確実な対応による大会開催としてもらいたい。

・森・川・海が一体となった自然環境保全

豊かな海づくりを推進する上では、森林、河川も一体となった自然環境の保全が求められる。本市下水道整備区域内においては、8,000件もの未接続施設があり、排水による水環境への影響が懸念されることから、強力な指導力をもって接続勧奨に当たるべき。また、動植物園から動物の糞尿などの未処理水が30年もの間、江津湖に排出されていた事実は大変遺憾であり、看過し得ない。

※予算決算委員会の模様は委員会会議録及び熊本市議会ホームページの議会中継をご覧ください。